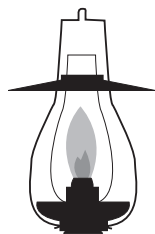


特集：南吉を書こう



1913年7月30日、愛知県半田市(現)に生まれ、
1943年3月22日に没した新美南吉。

この世に滞在したのは、わずか30年足らず。

しかし、私たちは新美南吉の作品が加わった世界を生きている。

例えば、『赤い鳥』1932年1月号に発表された「ごん狐」は、
1956年大日本図書の国語教科書に収録されたのを皮切りに、今や
小学四年生の定番教材となっている。

南吉作品への親近感を語る現代作家も多い。

「南吉を書こう」と題して行ったオマージュ作品募集は、南吉を手
放すつもりがないという意思の表明である。

南吉の世界と対話し、新たに紡がれた作品をここに贈る。

